

日本の原風景が残る場所

骨寺村莊園オーナー募集



骨寺莊園米の一年



4月 種蒔き



5月 田植え



夏 骨寺村莊園の田園風景



10月 稲刈り



11月 収穫祭



12月 米納め

岩手県一関市巖美町の本寺地区は、800年もの昔、「骨寺村」と呼ばれる、中尊寺経蔵別当の莊園でした。現在も中尊寺に残る絵図から当時の農村風景がうかがえる場所であり、日本の伝統的な農村景観が今も息づく場所として、国の重要文化的景観に指定されています。しかし、米価の低迷等、農業情勢が厳しさを増し、その農村景観の維持は難しくなっています。この景観を未来へと残し伝える為に、水田営農を支援していただく「骨寺村莊園オーナー」を募集いたします。

会員特典

「骨寺村莊園米」40kg(精米)を4回に分けて宅配します。
(11月・1月・3月・5月)

会費には「骨寺村莊園米」宅配送料、骨寺村莊園での農業体験料が含まれていますので、改めて費用はかかりません。

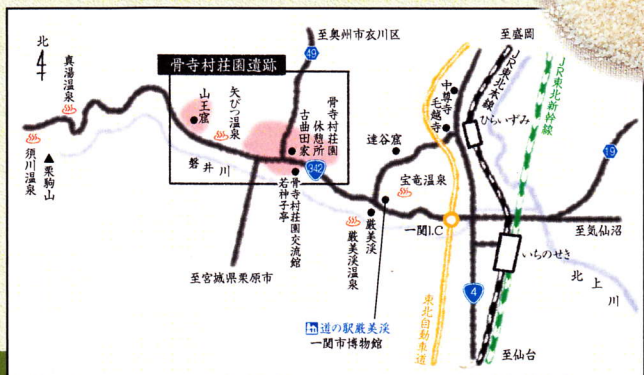
骨寺村莊園関連イベント等の案内を随時送らせていただきます。

骨寺村莊園米

品 種	米の乾燥方法	体験料	1口の米数量	会 費
ひとめぼれ	天日乾燥	無料	40kg	一口 30,000円 二口目から 26,000円

骨寺村莊園米とは？

中世の農村風景をとどめる骨寺村莊園遺跡内において、景観と環境を守りながら、安全で安心を心がけて作られたお米です。おいしさの秘密は、栗駒山から湧き出たきれいな水で作られていることにあります。



お申込・問合せ先
※お申込用紙は裏面にございます

本寺地区地域づくり推進協議会

〒021-0101 岩手県一関市巖美町字若神子241-2 TEL&FAX.0191-33-5022(骨寺村莊園交流館)

HP <http://honedera.jp> E-mail honederaws@bz03.plala.or.jp

主催/本寺地区地域づくり推進協議会 協力/一関市

オーナーさんQ&A

日本の農村の原風景が残る場所本寺は、オーナーの皆様にとって、どこか懐かしく、ほっとする場所。行きつけの田舎でありたいと考えています。ふるさとの親戚の家に遊びに来る様な感覚で来てください。お待ちしております。

Q1. 農業は初めてなのですが、心配ありませんか？

A1. 心配いりません。作業をするときは、地元の農家さんが直接教えてくれます。

Q2. 昔ながらの田植えや稲刈りが体験できますか？

A2. 田植えは手植え、稲刈りは手刈りで昔ながらの農業を体験していただけます。

Q3. 義務はあるのですか？

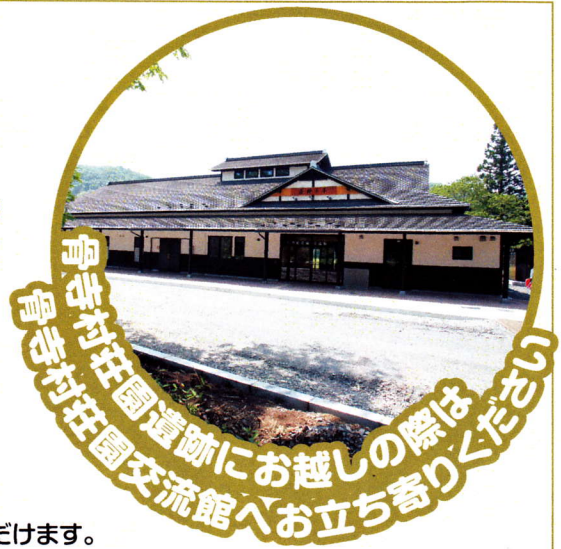
A3. 強制ではありませんが、なるべく多くの体験に参加していただきたく思います。

Q4. 骨寺村荘園遺跡に興味があるのですが、歴史についても教えてもらえますか？

A4. 農業体験の他にも「史跡めぐり」など歴史に関係した事業を予定しています。

Q5. 子どもにも体験させたいのですが、一緒に連れてっていいでしょうか？

A5. だいじょうぶです。お子さんもぜひ一緒に参加ください。



■スケジュール(予定)

3月下旬：夕日を見る会

5月下旬：お田植え祭

10月上旬：稲刈り祭

11月上旬：収穫祭

12月：中尊寺米納め

※他にもイベント企画中



「骨寺村荘園オーナー」申込書

「申込書」に必要事項を記載し、下記申込先へFAXするか、必要事項をメールに記載して送信願います。

申込先／本寺地区地域づくり推進協議会：TEL&FAX.0191-33-5022 (骨寺村荘園交流館)

E-mail honederaws@bz03.plala.or.jp

会費の納入／申込者に後日、郵便振替用払込票を送付いたしますので、2週間以内に納入をお願いします。

フリガナ		〒		口 数		口	
氏 名		住 所		金 額		円	
男	女	歳					
E-mail							
自宅電話番号				自宅FAX番号			

※ご記入いただいた個人情報は、連絡・お米の発送など、当該の目的以外に使用することはありません。